

平成 28 年 7 月開成町教育委員会定例会 会議録

日 時： 平成 28 年 7 月 29 日(金) 14 時 00 分～15 時 40 分

場 所： 開成町民センター 中会議室 B

出席者： 鳥海教育長、村岡教育長職務代理者、府川委員、相馬委員、露木委員、
【事務局】加藤参事、橋本教育総務課長、中戸川子ども・子育て支援室長

議 事：

1) 開会 教育長より開会の宣言

2) 会議録署名人の指名 露木委員が指名された。

3) 議事

《協議事項》

(1) 放課後の子どものあり方について

○教育長 事務局より説明がありましたが、現状についてなどご意見いかがでしょうか。意見交換の場としていきたいと思います。

○委員 放課後子ども教室でのコーディネーターの皆さんの意識としては、今後も続けていくべきであるとか、実際に携わっている方の意識について、気になるので伺いたいです。

○事務局 各校で 10 名ほどのサポーターの方がいられて、開成南小学校で参加人数が多い場合には、開成小学校から応援にもいっております。

現場から聞いている意見としては、関わっている者が過度に関わらないように気をつけていることがあります。これはあくまで、子どもたちが遊んだりする場を確保するものであるもので、当初は指導員のような立場でいましたが、子どもたちの自由な活動を下から支えるように変わってきています。

また、人数の問題ですが、学校ではなかなか友達ができない子も、回を重ねるごとに友達ができているので、こういう面からも人数がどうのこうのでなく、このような子がいるのであれば事業を続けていくべきであろうということも聞いております。

○委員 今のお話は、大多数の方の意見なのか、ごく一部の方の意見なのか、どうでしょうか。

○事務局 皆さん同じような考えでいられております。

コーディネーターが各校に 1 名ずついられて、まとめをされながら進めておりますが、保護者から見た場合に預けているという意識が強く、そことのギャップが大きくあります。

放課後子ども教室は、放課後の居場所を確保するというものですが、学童と同じように預けているという意識が強く、活動中にケガなどがあると、問題になるので、気をつけているところです。

○教育長 今年になって、希望者がいれば面倒をみてもいいという方が、数名おられて勉強をみる場面もあります。

今後、学童と同じように毎日やるということになると、今のサポーターの方については、土曜学校にも協力をお願いしましたが、ちょっと難しく週1回だから受けているという方が多いのが現状です。毎日となった場合に指導員をどうするかが、大きな問題であると思います。

○委員 最終的に、有料と無料がある中でどうするのか、学童は委託でお願いしている形で、スムーズに移行できるのか、保護者はどう受けとめるのか、社会教育委員さんがどう考えられるかということもありますが、どう合体していくのか、考えがつかないところです。

○教育長 この点については、文科省と厚生労働省の考え方として、合体させていくということですが、有料の方向でいくものと思います。

参加するかしないかの判断では、有料なら行かないということになると、居場所づくりができなくなります。

○委員 高学年になると、お金払ってまで行かなくてもいい、ということになりそうです。

○委員 子どもが複数いたら、金額もかさみます。

○教育長 学童は4年生まで範囲を広げています。放課後子ども教室は6年生までですが、学年により参加者のバラつきはあります。

今後は、両方とも6年生まで対象となります。

料金や時間の問題もありますが、保護者の立場からは、どう考えられますか。

○委員 放課後子ども教室の関係者の方とお話した時に、子ども園を作るくらい難しい問題で、有料と無料があり当事者としても困惑しているようです。

○教育長 学童の有料分は主におやつ代と考えていいのでしょうか。

○事務局 主には人件費でおやつ代は別に徴収しています。

○教育長 公費で指導員を雇う形になれば、無料に対応はできるようになっていきますか。

○事務局 現在の委託費は、国、県、町と保護者の4者で賄っています。工夫の仕方によっては、保護者負担の軽減も見込めることもあります。

○委員 料金がかからないので、時間は短いけど面倒みてもらえるからいいという保護者もいるのではないのでしょうか。

○事務局 学童保育は児童福祉の施策で、ある一定要件を満たさないと利用できないもので、それにより料金をいただき、補助金をもらっている状況があります。一つにした場合でも、その建前を活かしていかないとおかしいことになってしまいます。

この辺りについて、国からの指示もなく連携ということばで濁している点があり、完全に一緒にはできないので共通してできる学習、活動プログラムであるとか、そういうことを一緒にやってはどうかというようなことしか資料にもありません。

○教育長 放課後子ども教室を毎日実施しても参加する子どもがいるかどうかということもあります。週2回に増やす検討でアンケートを行ったところ、1回でいいという意見が多く1回のままにしています。

学童の組織は残して、そこへ行きたい人は週1回でも2回でも参加していいという形はありかと思います。料金と場所の問題、学童は土曜日もあり平日と土曜日の関係もあります。

あと2年ぐらい時間がありますので、皆さんも町民の方からご意見を伺ってください。皆さんの意見を積み上げ、社会教育委員会議にも諮問しておりますので、合わせて検討をしていきたいと思っています。

今日については、このへんで終了いたします。

(2) 開成町立学校プールのあり方について

○教育長 現実的に町民プールが使用できなくなることから、委員の皆さんの意見を伺いながら、より良い方向で進めていきたいと思っています。

ご意見や質問などいかがでしょうか。

○委員 青少年会館のプールは使えないのでしょうか。

○教育長 新庁舎の建設と合わせて取壊しされます。

○委員 建て直すようなことはできないのでしょうか。県の予算でできないのでしょうか。町の予算だけでは難しいので、県を巻き込んでできればいいと思いますが。

○教育長 本庁舎と運動場の整備のみと聞いています。プールは使用頻度が低いので、なかなか難しいです。

○委員 プールの建設費用はどれくらいかかりますか。

○教育長 昨年簡単な見積りでは、町民プールとしての機能と25mコース5コースと円形の小プールで約2億円です。

学校プールのみでは1.5億円くらいです。

○委員 一般開放は開成南小学校がそのように造ってあるので、もし造るとしても開成小学校用の学校プールのみでいいのではないのでしょうか。

現実的にみても利用が多いわけでもないのに、南足柄市でも一般開放用プールをだいぶ減らしています。曜日の限定やどこかが開いているような仕組みで運用しています。

ですので、一般開放は考えずに学校用として開成小学校の敷地内に必要であるか絞って考えたほうがいいと思います。

○教育長 データとしてここ数年の町民プール利用者数が少なくなってきているので、午前中の開放をやめて午後のみとしても、ひと夏のトータルで4,000人、数年前は9,000人ほどいました。

○委員 親が連れてこないといけないのがネックみたいのこともあります。

○教育長 一般開放はもう考えなくてよいという方向では進んでいます。開放するのであれば開成南小学校を使うということです。学校の教育課程上では水泳指導は必要であるので、開成小学校での水泳指導はどうしていくかということです。

○委員 教育課程上で必要であるということであると費用の捻出はできるのでしょうか。

○教育長 教育委員会では、なんとしても造ってほしいという方向でいかないといけません。

学校の要望にもよりますが、どこかを借用してできるのであればいいのですが、来年度については借用していかないといけません。

その方法が子どもたちや先生方に水泳指導をする上でいいのであれば、借上げのままでいく可能性もあります。

○委員 授業数や時間で考えていくと難しくないのでしょうか。

○教育長 比較的、天候に左右されずに授業を組める点ではプラスの面もあります。しかし、移動時間等を考慮すると余分な時間は必要になります。

○委員 文命中学校はどれくらいプールを使用していますか。

○教育長 だいたい1クラス9時間、9時間の5クラスで3学年、中学はクラス単位での実施ですので、コマ数は小学校より多くなります。

○委員 思っていたよりも多いです。深くて使用できないのなら、台を入れて浅くすることもできますが。

○教育長 その点も考えて教育課程を調べたら、コマ数が多くて組み込めないことがわかりました。中学は教科でやっているので学年で先生がみるというわけにはいきません。

このようなことで文命中学校には組み込めないということです。

○委員 バス1台借り上げた場合にはどれくらい費用がかかりますか。

○教育長 バス1台を半日で5万円くらいです。

○委員 小学生の水泳授業数はどれくらいですか。

○教育長 6年生で8時間と保健指導2時間、3、4年生で10時間くらいです。

○委員 1単位2時間で往復を入れると、3時間使うことになりますか。

○教育長 保健指導を抱き合わせながら、移動を入れていくとあまり問題なく実施できると思います。

今後、英語指導などモジュールで行うようなこともでてくるので、体育もそのようになれば、今日は60分、次は何分のような柔軟に対応できるようになるかもしれません。最低15分のです。

○委員 動きやすく見えますが、実際にクラスをもっている先生にとってはやりにくい状況になると思います。

プールは1回2時間としても移動入れると3時間かかってしまうように思えます。

○委員 特に低学年は、着替えやバスに乗るにも時間がかかります。向こうで着替えるなど、先生方の苦労もあると思います。

1回2時間だったのが、やはり3時間はかかると思います。場合によっては半日ともなります。

○教育長 私も午前の全部を体育として行うことや、8時間あるのも適正かどうかを検証していけば組めるのではないかと思います。

やはり2校ある中で、開成南小学校で水泳指導を行っているのであれば、開成小学校は別ですというようなことはできません。

○事務局 現在の試算では、バスの借上げとプールの借用で、年間200～300万円くらいかと思います。単純に10年でも3,000万円ということで作ることからすると費用面でどうなのかということもあります。

○委員 造っただけでなく、メンテナンスにも費用はかかります。

- 委員 プールを借りる形態はどんな形になりますか。
- 事務局 25mコースで、深いコースと台により浅くしたコース、子ども用の円形プールで一人いくらでなく、貸切りで1時間いくらの扱いになると思います。
- 委員 確実に実施できる点ではいいと思います。
- 教育長 その方向がいいとなった時に、開成南小学校でもやればいいのかないかなど、いろんな問題や声が出てくることを懸念しています。
民間で造ってくれればありがたいですが。
- 委員 県でも新しく造るのではなく、今は広域で施設を融通しあっている
ので、南足柄市の施設を使えばいいということになると思います。
- 教育長 このプール問題は近々の問題ですので、9月や10月には結論を出して予算計上が必要になります。開成小学校での方向性がでてきた中で決めていきますので、現在のところ事務局で考えているものを説明させていただきます。
- 委員 実際に行った段階で、水泳以外時間がどれくらいかかるのかなど、
今後については検討することが出てくると思います。
- 教育長 造るとなると環境問題、近隣との関係などが出てきますので、そう
簡単にはいかない現状もあります。学校の敷地なので自由にできるか
というところではなく、住民の理解を得る必要があります。
プールについては現状を報告しながら皆さんと話し合いをしてい
きたいと思います。

(3) その他

- ・特になし。

《報告事項》

- (1) プレイパーク事業について
資料3により説明【事務局】
- (2) 経過報告、今後の予定
・資料4、5により報告【事務局】
- (3) 開成町立学校の様子について
- (4) その他
特になし

閉 会 ： 教育長より閉会の宣言